

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第1回高田区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）令和4年度地域活動支援事業の完了について（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

（2）令和5年度地域協議会の活動計画について（公開）

4 開催日時

令和5年4月24日（月）午後6時30分から午後7時39分まで

5 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

6 傍聴人の数

2人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：本城文夫（会長）、澁市徹（副会長）、高野恒男（副会長）、
飯塚よし子、浦壁澄子、小川善司、北川 拓、佐藤三郎、杉本敏宏、
富田 晃、西山要耕、廣川正文、松倉康雄、宮崎 陽、村田秀夫、
茂原正美、吉田昌和（欠席3人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

9 発言の内容

【石黒係長】

- ・ 栗田委員、小嶋委員、松矢委員を除く17人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

【本城会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：本城会長、佐藤委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき議題を確認

【本城会長】

「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

－ 次第3 報告（1）令和4年度地域活動支援事業の完了について－

【本城会長】

次第3 報告（1）令和4年度地域活動支援事業の完了についてに入る。

事務局より説明を求める。

【石黒係長】

- ・当日配布資料No.1により説明

【本城会長】

- ・事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【本城会長】

- ・ただ今の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

以上で次第3 報告（1）令和4年度地域活動支援事業の完了についてを終了する。

－ 次第4 議題（1）地域活性化の方向性について－

【本城会長】

次第4 議題（1）地域活性化の方向性についてに入る。

事務局より説明を求める。

【石黒係長】

- ・当日配布資料No.2により説明

【本城会長】

事務局の説明について、感想や意見のある委員の発言を求める。

【西山委員】

高田区の中でも地区的に問題点がそれぞれ違って、全部の地域で一つの問題点を考えていくのはちょっと難しいのかと思う。また、商業や観光であったり若者の起業であったり視点を分けて意見を求めないとよくわからない部分もあった。これからどうやって残っていくか、残していくかということをもう少し考えていかないと、先に進展しないのではないかと思った。

【本城会長】

貴重なご意見をいただいた。参加された方々も総合的な視点で発言していただくということは、なかなか困難なのかと私も受けとめた。

ただ、最後に委員から出された意見で、地域の活性化のために市に何をやってもらうのかというところが、素直な意見として4人の方からいろいろ挙げられたことが大変貴重だったと受けとめている。

西山委員がおっしゃったように、商店街といっても事業主によってケースバイケースで視点が異なるというご指摘をいただいたので、進行の仕方も含めて反省しなくてはいけないと受けとめた。

他に気づいた点はないか。

【杉本委員】

4人の方の発言をどのように集約するのかを考えて「市に何をやってもらいたいか」と質問したが、皆さんの考えていることは同じところに集約されるという感じを受けた。

私の前に西山委員が質問したが、どういう状況になったら活性化したと言えるかについて、これはこの議論を始めた時から100人いれば100通りの活性化に対するイメージがあることから、どこかでまとめないと最終的な協議や議論はできないのではないかと訴えてきたもの。まさにそのことを言ってもらい私としてはよかった。

【富田委員】

澁市副会長から年間の活動計画のところの説明があるかと思う。その時に質問し

ように思うが、方向性ということで、西山委員も杉本委員も言われたが、まとめ方が非常に難しいと思う。活性化とは広い。既に八つの自治区が「地域活性化の方向性」を完成させたが、これも仕上げないといけないし、計画がどうかということも審議していかないといけない。まとまらないのではないかと思う。

【本城会長】

これまで3回目の学習会を開催し、あと1回予定をしている。皆さんから特に意見が無ければ、次回の学習会の案について事務局より説明を求める。

【石黒係長】

今月の10日に正副会長会議を行い、若者・子育て世代をテーマとした学習会の開催方法を協議した。お招きする方の案としては、子ども・保護者の関係団体から「マミーズネット」、若者世代の当事者であり、かつ移住者ならではの外からの視点にも期待を込めて大町3丁目にある学生向けシェアハウスの入居者並びに本町6丁目に支社を構えた東京のIT企業「テラスカイ」の社員の方が候補として挙がった。

【本城会長】

私たちは、次の世代を担う人たちから意見を聞いてみてはどうかということから、子育て世代、あるいは東京のIT企業関係の若者、あるいはシェアハウスの学生からもご意見を聞いたらいいのではないかと話し合った。

先ほどから皆様に指摘されているように、お招きする方がそれぞれの立場で考え方が違うし、問題のとらえ方も違うと思う。一つのテーマのもとで発言いただくことは難しさもあるが、次世代を担う世代から意見をいただいたらどうかと考えた次第である。皆さんから意見を出していただいて、正副会長と事務局で相談をしながら最終的に次回のメンバーを選定していきたい。

【西山委員】

子育て世代、若者というのは両方とも大切なことだと思う。別々に開催してはどうか。時間がないかもしれないが、背景が違うので勉強会としてはいいと思う。

【本城会長】

時間的な制約がある中で、広範囲に渡る課題からテーマを絞り3回の学習会を開催してきた。最後の4回目は、それぞれの立場で意見を伺う形がよいと思う。

今、西山委員から、子育て世代と若者世代の開催を分けたらどうかという話があっ

たが、それぞれの立場で高田区の活性化のために何があるのかを提言していただければよいのではないかと。

たくさんの方から意見を聞くことは大事だが、人数の関係もあるためその中から絞り込んで、三役会議では次世代を担う子育て・若者世代でいろいろ取り組まれている方々の意見を聞くことがよいのではないかと考えた。

【西山委員】

今後活躍される若者の話だが、若者の何の話聞くのか。商売とかビジネスに関する話なのか、地域に密着する話なのか、文化や何かを広げていくような活動をするのか、若者の活動といっても十人十色で全然違う。ある程度絞ってもいいかと思う。

【本城会長】

皆さんから意見を出していただいて、それを総合的に絞り込んでいきたいと思う。確かに若者といっても漠然としているかもしれない。あくまで高田区の活性化というのがテーマなので、そういう意味で地域で活動している人、地域活動を通して頑張っている人がよいのではないかと。

【高野副会長】

西山委員の言うことはわかるが、一つ一つ細かくやれば、毎月一つずつやらなくてはならないかと思う。

【西山委員】

当初、若者とマミーズネットの話をされたときに、若い方が子育てをしながら町の活性化に取り組む際にどのような苦勞をされているかという話が聞けるのかと思った。両親が働きながらどうやって活動に取り組むかという話だと思っていたが違うようだ。高野副会長が何回かに分ければよいと言うのであれば、私は分けた方がよいと思う。そのために地域協議会をやっているわけだから。その方が意見を聞けるのではないかと。

【本城会長】

他の地域協議会の関係もいろいろと聞いたり調べたり、今日の資料にもあったが、この活性化の方向性というのは、極めて箇条的に出されてまとめられている。

高田区の現状からして、若者、子育て世代の候補と言えば、マミーズネットだとか、あるいは、新たにオフィスを立ち上げて地域で活動している方とか、シェアハウスの

入居者とか、IT企業の若者が三役会議では挙げられた。全く業種が違う方々にお声がけをして話を聞くというのは、少し無理があるとも思われるが、どのように絞り込むかは皆さんの意見も参考にしながらまとめたい。

【杉本委員】

三つの団体が話があったが、西山委員が疑問に思ったことと私が疑問に思ったことは共通しているのではないかと思うのは、マミーズネットとあとの二つの団体のやっていることはかなり違う。子育て世代と若者は一つに括ることができるのか。マミーズネットだけ浮いてしまうのではないか。若者や子育て世代で括るのであれば、例えば、保育士の団体とか、保護者の団体等から今の上越市の子育て環境にどのような問題があるのかということを知った方がよいのではないか。シェアハウスやテラスカイの方は、上越にいた人ではなくて、よそから来て、いろいろな活動をされている人のように見える。彼らはよそから来て、上越に欠けているものを立ち上げ活性化に向けて活動していることから、その貴重な体験は別に話を聞いた方がよいのではないか。

【西山委員】

勉強会は次回で最後の予定か。

【本城会長】

日程的には既に3回やってきた。私は、市民の意見を聞く会はこの辺で終わりにしたい。皆さんがまだ継続してやりたいというのであれば、今のような形で分けてやることも可能ではある。あるいは、更に業種・分野を広げることも考えられるが、どこで線引きをするか。学習会の狙いは、高田区として市に対する要望、意見というものを集約をしていけばよいと考えていた。共通する業種団体ごとに一つのグループとして設定するのではなく、立場は違ってもそれぞれの立場で意見をいただければ、最終的には子育て・若者という立場での意見として総括すればよいと思う。そうでなければ、更に2回、3回と開催することも一つの進め方だと思うが、市長から求められている地域活性化の方向性について、他の自治区は続々と発表し始めている。高田区は、慎重に時間をかけて市民の意見を聞きながらまとめていこうとしている。広範な課題からテーマを四つに絞り、4回目は若者をテーマとした次第である。グループを更に細分化して学習会を開催し、意見を伺いたいと皆さんが合意するのならばそれ

もよい。

【富田委員】

今後の進め方にも関係するが、4回目の学習会の開催後、地域の活性化に向けた構成要素を作成する際に、もう少し聞いた方がよい分野があれば追加して開催してよいと思う。4回で区切りとし、活性化に向けた構成要素を検討してみたらいいと思う。

【本城会長】

他にどうか。

【西山委員】

子育て関連団体には「リトルライフ」や「上越おやこ劇場」もある。ちょうど2人ずつになるように声がけしてはどうか。おやこ劇場は、地域活動支援事業で子どもを対象とした活動を実施している。

【本城会長】

皆さんから次回学習会にお招きする方をご推薦いただけるとありがたい。今日いただいた意見を参考に再度、三役会議で検討したい。

先ほどの意見を聞くと若者と子育てを分けて、開催することも一つの案かもしれない。

【吉田委員】

学習会をあと2回開催するか1回にするか、多数決を取ったらどうか。その上でお招きする方を決めていけばいいのではないか。

【本城会長】

吉田委員から、多数決という提案があったが、多数決を取るというのも迷う。あと1回でいいのか、2回でも3回でも開催しようと言われるのか。様々な意見があるが最終的には事務局と正副会長で総合的に整理してまとめたい。実際、協議会の市への提言能力の問題もあると思う。他の区では総合事務所からアドバイスを受けながら地域の課題を整理して活性化の方向性をまとめている。事務局である南部まちづくりセンターにはこの度、課長級の所長が来られた。事務局の意見も取り入れながら、私たちの意見を整理をして高田区の活性化の方向性をまとめていきたい。他の区のものを見ても箇条的なことが四つか五つしかない。中身的に何をやるのかという話

になる。

高田区にはこのような課題があるのではないかと市から提案され、それを協議会で深く討議することが本来であると思うが、私たちの方から吸い上げていくには私たちにも政策能力が求められる。意見を伺った各団体の皆様のご意見を私たちも真に受けとめて吸い上げていきたい。次回の次世代を担う世代の方々の意見を聞くことが一区切りと考えている。

【富田委員】

これまで協議会では、災害や若者の地域参画など様々なテーマで協議してきた。あと一つ、私が見えてこないのは子育てである。そして、もう一つ大事なことが企業誘致と考える。ただし、これは話が大き過ぎる。これまで活性化の方向性を作る目的の下、様々な分野の方から意見を伺ってきたことから、もう十分ではないかと思う。何か足りない分野があれば随時聞けばよい。

【茂原委員】

若者から意見を聞くというと、20代から30代だと思うが、私たちとは世代がかけ離れ、話についていけない懸念もある。

また、この度改定された上越市第7次総合計画が配本されたが、これを基に話を展開していけばいいのではないかと私は常々思っている。逆にこれにほとんど触れていないことが問題なのではないか。この内容をかみ砕いていけば、自ずと「暮らしやすく希望あふれるまち上越」に行き着くのではないかと思う。

【本城会長】

この総合計画が、地域計画として細かく制定されていれば我々も理解できるが、あくまでもこれは市の全体計画であり、高田区には高田区の課題がある。その中で、今の問題と学習会でやっている問題との整合性を取りながら、市に我々の意見を述べるものとする。

学習会の開催については、次回は、今いただいた意見にも配慮しながら次回で最終回としたいがいかがか。

【西山委員】

前回の学習会にお招きした方の半分はベンチャーの若者であった。次回も若者がテーマであるが、若者だけではなくて、これから高齢者に対して、どういう対応を取

っていくのかも考える必要があると思う。福祉ではなく、どう過ごしてもらうか。住んでいるのは若者だけではないので、高齢者をテーマにもう1回開催してもいいかと思う。

【本城会長】

西山委員のご提案もわかるが、地域協議会のメンバーも、私を含めて高齢化しているので、そこから活性化していかななくてはいけない課題かと思う。今いただいた意見も貴重な意見ではあるが、四つのグループから話を聞くことで一つの区切りにさせていただきたい。いつまでも学習会を続けていては私たちの任期も終わってしまうので、なるべく早めに高田区の活性化の方向性を完成させたい。むしろそちらを急ぎたい。他の区では続々と完成させているのに高田区だけ議論ばかりしているというのも困る。今いただいた意見を参考に事務局と相談しながら、結論を出したいがよいか。そのようなまとめ方で三役にお任せいただきたい。

それでは、ただいまの説明について、いろいろなご意見をいただいたので、次回にお招きする方について、皆さんのご意見を参酌しながら、来月の三役会議で次回の学習会のお招きする方を決めていきたいと思う。重ねて申し上げるが、相手のあることでもあるので、必ずしも相手の方がよしとしない場合もあるが、調整し案内させていただきたい。

以上で次第4 議題（1）地域活性化の方向性についてを終了する。

－ 次第4 議題（2）令和5年度地域協議会の活動計画について－

【本城会長】

次第4 議題（2）令和5年度地域協議会の活動計画についてに入る。

澁市副会長より説明を求める。

【澁市副会長】

- ・当日配布資料No.3により説明。

【本城会長】

澁市副会長の説明について、質問、意見のある委員の発言を求める。

【浦壁委員】

先ほど言い忘れたので、学習会の議題に戻ってよろしいか。お招きした方にお話し
いただく内容について、その方々が考える高田区の課題や課題を踏まえ活性化に向
けて取り組んでいること、今後の展望といったことの他に、地域協議会に要望するこ
とを加えてはどうか。私たちもより活動しやすくなり、焦点が絞られて皆さんが望ん
でいることが明確になると思うがいかがか。

【本城会長】

浦壁委員から、我々、高田区地域協議会に対する要望について意見を求めたらどう
かと提案があった。そのことは別に否定するわけではないが、地域協議会の活動を市
民がどれだけ理解しているかという疑問も私自身持っている。お招きした方にその
ような意見を求めることはやぶさかではないので、次の学習会でお願いしてみても
いいと思う。既に3回終わっているので、できればもっと早い段階でそういうことを
取り上げておけばよかったと私も反省する。次回の学習会では、高田区地域協議会へ
の要望があったら出していただくようお願いしたい。

【富田委員】

来年の4月までの任期で、6月19日に第4回の学習会をやるということまでほ
ぼ決まっている。ただ、7月から12月の6か月で、どのように進めていくのか。高
田区の地域活性化に向けてという表題を作って、それから、構成要素を皆さんから募
集して、議論して決めていくというアクションプランを作っていたら安心していい。
次回までにアクションプランを作っていたらいい。

【澁市副会長】

要するに、来年の4月に我々の任期が終わることから、そこを目標にしたタイムテ
ーブルを作るということか。アクションプランではない。どういうタイムテーブルが
できるかどうか。それこそ皆さんのお知恵が必要である。例えば、皆さんから、こ
ういうことを主体としてやったらどうかという意見を募集する方法もあるし、皆
さんから意見をいただいて三役会議で検討する方法もあるがいかがか。タイムテ
ーブルは、簡単に作成できるものではない。作成しても順次改定していかないと
いけない。私としては、会長と一緒にやっていきたいと思う。

【本城会長】

我々の任期も決まっているわけだから、それに向けて一定の方向を整理してい

たいという思いは共有していると思うので、お互いに努力をしていきたいと思う。

【富田委員】

既に8区が完成している。この八つの総合事務所等にどのように作り上げたかを聞いていただければ、我々もどう進めたらよいかの参考とすることができる。どのように進めてきたか情報が欲しい。

【滝澤副所長】

意見交換などをしてそれを参考に作ったのか、もしくは、協議会委員のみで作ったのか、そういったことを知りたいということによろしいか。

【富田委員】

地域活性化に向けた表題と構成要素についてである。構成要素を先に作るのか、表題を先に作るのか、この点について自分は迷う。

【滝澤副所長】

意見交換をしたか、しないかではなくて、その大きいタイトルと内容等をどちらを先に作ったかということによろしいか。まずは、8区に確認してみるが、わかる範囲でお答えしたいと思う。

【本城会長】

それでは、地域協議会の活動計画について了承していただいたということで終了させていただくが、よろしいか。

－ 次第5 事務連絡 －

【本城会長】

次第5 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・今後の地域協議会等の日程連絡

第2回地域協議会：5月22日（月）午後6時30分から 福祉交流プラザ

学習会：6月19日（月）午後6時30分から 福祉交流プラザ

第3回地域協議会：6月26日（月）18：30から 福祉交流プラザ

- ・配布資料

有田区、柿崎区、中郷区地域協議会の「地域活性化の方向性」

柿崎区地域協議会の意見書

上越市第7次総合計画 本編、ダイジェスト版

ウィズじょうえつからのおたより

創造行政研究所ニュースレター

小川委員からのチラシ

【本城会長】

ただ今の説明について質問を求めるがなし

全体を通して質問等を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

1 0 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL: 0 2 5-5 2 2-8 8 3 1 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。